

平成 28 年度ユネスコスクール（ASPnet）アンケート

このたび、文部科学省から委託を受け、ASPUivNet 加盟大学とユネスコスクール事務局である公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）が平成 28 年度ユネスコスクール年次アンケートを実施することになりました。平成 29 年 1 月 5 日（木） までにご回答頂きますよう、ご協力お願い申し上げます。

このユネスコスクール年次アンケートは、今後のユネスコスクール活動の一層の推進に向けて、ユネスコスクールの実情を把握するとともに、ユネスコスクールの活動を支援するために、現場の皆様の声を政策に反映することを目的として実施されます。アンケート結果は、ユネスコスクール事務局（ACCU）にて直接回収し、個別の学校名がでないような形で公表しますので、忌憚のないご意見をお聞かせください。

なお、加盟もない学校や幼稚園やオルタナティブスクール、特別支援学校、大学といった学校種によっては回答が難しい設問があるかと思います。回答できない設問はスキップしていただいてかまいません。今年度（平成 28 年 4 月～29 年 3 月）の学校の取組についてご記入ください。

Part 1

質問 1

学校名 _____

質問 2 種別

- ☐ 保育園・幼稚園
- ☐ 小学校
- ☐ 小中一貫教育
- ☐ 中学校
- ☐ 高等学校
- ☐ 中高一貫教育
- ☐ 教員養成
- ☐ 技術/職業教育

文部科学省委託事業
平成 28 年度日本/ユネスコパートナーシップ事業

- ☐ 特別支援学校
- ☐ その他（オルタナティブスクール）

質問 3 回答者：

- ☐ 校長
- ☐ 副校長
- ☐ 教頭
- ☐ 研究主任
- ☐ ユネスコスクール担当
- ☐ ESD 担当
- ☐ その他（質問 4 へ）

質問 4

質問 3 で「その他」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

--

質問 5

年齢：

- ☐ 20代
- ☐ 30代
- ☐ 40代
- ☐ 50代
- ☐ 60代以上

質問 6

回答者がこれまでユネスコスクール/ESD にたずさわった期間

〔 年〕

質問 7

「国連 ESD の 10 年」の継続プログラムとして位置付けるグローバル・アクション・プログラム（GAP）は、「政策的支援/機関包括型アプローチ/教育者/ユース・ローカルコミュニティ」の 5 つの優先分野を中心に、ESD の取組を推進することになります。このプログラムについて

- ☐ 知っている

☐ 知らない

質問 8

どの優先分野に取り組んだか教えてください。（複数選択可）

- ☐ 政策的支援（ESD に対する政策的支援）
- ☐ 機関包括型アプローチ（ESD への包括的取組）
- ☐ 教育者（ESD を実践する教育者の育成）
- ☐ ESD への若者の参加の支援
- ☐ 地域コミュニティ（ESD への地域コミュニティの参加の促進）

質問 9

GAP と別に国内実施計画（2015-2019）があることについて

- ☐ 知っている
- ☐ 知らない

質問 10

2012 年 6 月の国連会議において「持続可能な開発目標（SDGs）を策定することが合意され、現在 17 の目標案が発表されています。この目標について

- ☐ 知っている
- ☐ 知らない

質問 11

それぞれの目標について

	関心がある	活動に着手している
1. 貧困の撲滅	☐	☐
2. 飢餓の撲滅	☐	☐
3. 健康と幸福度	☐	☐
4. 教育	☐	☐
5. ジェンダーの平等	☐	☐
6. 水と環境衛生の確保と持続可能な管理	☐	☐
7. 環境の持続可能性の確保	☐	☐
8. 持続可能な経済成長と人にふさわしい仕事の推進	☐	☐
9. 持続可能な産業とイノベーションの推進	☐	☐
10. 不平等の削減	☐	☐
11. 安全なまち・地域社会への転換	☐	☐
12. 責任ある消費と生産の確保	☐	☐
13. 気候変動への対応	☐	☐

- | | | |
|-------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 14. 海洋資源の保存 | ☐ | ☐ |
| 15. 陸上生態系の保護 | ☐ | ☐ |
| 16. 平和で誰もが受け入れられる社会の実現 | ☐ | ☐ |
| 17. 目標(SDGs)達成のための仕組みと国際協力の強化 | ☐ | ☐ |

質問 12

ユネスコスクール加盟校に「ESD（持続可能な開発のための教育）推進の手引」が配布されていることを知っているかどうかお答えください。

- ☐ 知っている
☐ 知らない

Part2

質問 1

ユネスコスクール加盟校の活動の活発化及び質の向上のために、国内や海外のユネスコスクール間の交流が推奨されています。

ユネスコスクール相互間ネットワークについて

国内の学校と交流しましたか。

- ☐ 交流した（質問 2、3 へ）
☐ 交流しなかった（質問 5 へ）

質問 2

交流した場合、何校と交流しましたか。

（ 校 ）

質問 3

交流した場合、どのように交流したか以下から選択してください（複数選択可）。

- ☐ 教員の往来（公開授業や視察など）
☐ 生徒・児童の往来
☐ 会議やセミナーに出席した際の交流
☐ ICT（スカイプ、チャット、電子メール等）での交流
☐ 協働プロジェクト／活動の実施（質問 4 へ）
☐ その他（質問 5 へ）

質問 4

質問 3 で「協働プロジェクト／活動の実施」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

--

質問 5

質問 3 で「その他」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

--

質問 6

交流しなかった場合、その理由を以下から選択してください（複数選択可）。

- ☐ 交流先の学校を見つける方法がわからなかった
- ☐ どのように交流したらいいのか方法がわからなかった
- ☐ 交流を準備する時間／人手がなかった
- ☐ 交流のための費用がなかった
- ☐ 交流するメリットを感じていない （質問 7 へ）
- ☐ その他（質問 8 へ）

質問 7

質問 6 で「交流するメリットを感じていない」を選択した場合、理由を簡潔にご記入ください。

--

質問 8

質問 6 で「その他」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

--

質問 9

国内の他のユネスコスクールとの交流を予定していますか。

- ☐ 予定している（質問 10 へ）
- ☐ 予定していない

質問 10

予定している場合、以下の内容から選択してください（複数選択可）。

- ☐ 教員の往来 （公開授業や視察など）
- ☐ 生徒・児童の往来
- ☐ 会議やセミナーでの経験共有・意見交換

文部科学省委託事業

平成 28 年度日本/ユネスコパートナーシップ事業

- ☐ ICT（スカイプ、チャット、電子メール等）での交流
- ☐ 協働プロジェクト／活動の実施（質問 11 へ）
- ☐ その他（質問 12 へ）

質問 11

質問 10 で「協働プロジェクト／活動の実施」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

--

質問 12

質問 10 で「その他」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

--

質問 13

海外の学校と交流しましたか。

- ☐ 交流した（質問 14、15、16 へ）
- ☐ 交流しなかった（質問 19 へ）

質問 14

交流した場合、何校と交流しましたか。

（ 校）

質問 15

交流した場合、どのように交流しましたか。以下から選択してください（複数選択可）。

- ☐ 教員の往来（公開授業や視察など）
- ☐ 生徒・児童の往来
- ☐ 会議やセミナーに出席した際の交流
- ☐ ICT（スカイプ、チャット、電子メール等）での交流
- ☐ 協働プロジェクト／活動の実施（質問 16 へ）
- ☐ その他（質問 17 へ）

質問 16

質問 15 で「協働プロジェクト／活動の実施」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

--

質問 17

文部科学省委託事業
平成 28 年度日本/ユネスコパートナーシップ事業
質問 15 で「その他」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

--

質問 18

交流した場合、その国名をご記入下さい。

--

質問 19

交流しなかった場合、以下の内容から選択ください（複数選択可）。

- ☐ 交流先の学校を見つける方法がわからなかった
- ☐ どのように交流したらいいのか方法がわからなかった
- ☐ 交流を準備する時間／人手がなかった
- ☐ 交流のための費用がなかった
- ☐ 交流するメリットがなかった
- ☐ 語学の問題があった
- ☐ その他（質問 20 へ）

質問 20

質問 19 で「その他」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

--

質問 21

海外のユネスコスクールとの交流を予定していますか。

- ☐ 予定している （質問 22 へ）
- ☐ 予定していない

質問 22

予定している場合、以下の内容から選択してください（複数選択可）。

- ☐ 教員の往来 （公開授業や視察など）
- ☐ 生徒・児童の往来
- ☐ 会議やセミナーでの経験共有・意見交換
- ☐ オンライン（スカイプ、チャット、電子メール等）での交流
- ☐ 協働プロジェクト／活動の実施 （質問 23 へ）
- ☐ その他（質問 24 へ）

質問 23

質問 22 で「協働プロジェクト／活動の実施」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

--

質問 24

質問 22 で「その他」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

--

質問 25

ユネスコスクールのさまざまなネットワークを活用して今後どのようなことがしたいとお考えですか。生徒・児童、教員に関することなど、具体的にお答えください。

--

質問 26

ユネスコスクールのさまざまなネットワークを活用するにあたっての課題は何だと思えますか。具体的にお答えください。

--

Part3

質問 1

今後のユネスコスクールの活動について、特に重視するべきと考える分野を選択してください（複数選択可）。

- ☐ 環境
- ☐ エネルギー
- ☐ 防災
- ☐ 生物多様性
- ☐ 気候変動

文部科学省委託事業
平成 28 年度日本/ユネスコパートナーシップ事業

- ☐ 国際理解
- ☐ 世界遺産や地域遺産等
- ☐ 人権・平和
- ☐ 健康・福祉
- ☐ 食育
- ☐ 持続可能な生産と消費
- ☐ 貧困
- ☐ エコパーク

*生態系の保全と持続可能な利活用の調和と目的とした、ユネスコの事業。生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）

- ☐ ジオパーク

**地質学的遺産を保護し、持続可能な経済開発の場とすることを目指したユネスコの国際ネットワーク事業

- ☐ グローバル・シチズンシップ教育（GCED）

*** グローバル・シチズンシップ教育…地球市民教育、世界市民教育など同一

- ☐ その他（質問 2 へ）

質問 2

質問 1 で「その他」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

--

質問 3

地域の社会教育機関、NPO 等と連携しましたか。以下から選択してください（複数選択可）。

- ☐ PTA
- ☐ 地域の識者
- ☐ 町内会
- ☐ 公民館
- ☐ 学校支援地域本部
- ☐ 教育委員会
- ☐ 博物館
- ☐ 動物園・植物園・水族館
- ☐ 地域のユネスコ協会
- ☐ 大学等高等教育機関
- ☐ NPO・NGO 団体（質問 4 へ）
- ☐ その他（質問 5 へ）
- ☐ 連携しなかった

質問 4

質問 3 で NPO・NGO 団体を選択した場合、団体名をご記入ください。

--

質問 5

質問 3 で「その他」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

--

質問 6

校内外における ESD・ユネスコ活動に関する研修に参加しましたか（複数選択可）。

- ☐ 校内研修
- ☐ 教育委員会主催研修会
- ☐ 「ESD 推進のためのコンソーシアム」の研修会
- ☐ 環境省の研修会
- ☐ ユネスコスクール支援大学間ネットワーク（ASPUnivNet）主催研修会
- ☐ その他の大学主催の研修会
- ☐ ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）主催研修会
- ☐ その他（質問 7 へ）
- ☐ 参加しなかった

質問 7

質問 6 で「その他」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

--

質問 8

学校経営方針等にユネスコスクールの活動に取り組むことを明確に示し、学校全体で組織的かつ継続的にユネスコスクールの活動に取り組みやすくしているかどうかお答えください。（複数選択可）

- ☐ 学校経営方針等にユネスコスクールの活動に取り組むことが示されている
- ☐ 学内に明示的な形で ESD 推進の仕組みが構築されている。
- ☐ 学内で ESD 担当者を決めている。
- ☐ その他（質問 9 へ）

質問 9

質問 8 で「その他」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

質問 10

学校全体で取り組んでいる場合は具体的に、取り組んでいない場合はその理由をご記入ください。

質問 11

ESD を通じて、育てたい資質や能力を明確にし、協働的で課題解決型の教育課程を編成するよう努めましたか。また、指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めましたか。お答えください（複数選択可）。

- ☐ 資質能力を明確にした
- ☐ 教育課程を適切に編成した
- ☐ 横断的な指導計画を立てた
- ☐ 指導内容を適切に定めた
- ☐ 指導方法の工夫と改善に努めた
- ☐ その他（質問 12 へ）
- ☐ 努めなかった

質問 12

質問 11 で「その他」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

質問 13

工夫や改善に努めた場合は具体的に、努めなかった場合はその理由をご記入ください。

質問 14

ユネスコスクールの活動について外部からのモニタリング・評価を受けていますか。

- ☐ モニタリング・評価を受けている（質問 15 へ）
- ☐ 受けていない

質問 15

モニタリング・評価を受けている場合は、その評価内容をご記入ください。

--

質問 16

ユネスコスクールに加盟し、ESD の推進拠点となったことで、どのような効果がありましたか。質問 16～22 (①～⑦) のうち該当する部分を選び、その効果のあった内容及び効果があったと考えられる要因 (ESD の特色) について、具体的にお答えください。

①児童生徒の変化

--

質問 17

② 教員の変化

--

質問 18

③学校運営の変化

--

質問 19

④カリキュラムや教授法の変化

--

質問 20

⑤保護者・地域との関係の変化

--

質問 21

⑥他校との交流の変化

--

質問 22

⑦その他

--

質問 23

ユネスコスクールとして ESD に取り組む際の課題、問題点は何かと思いますか。具体的にご記入ください。

--

Part4

質問 1

ユネスコスクールがESDの推進拠点となり、ユネスコスクールの数も増えてきていますが、ユネスコスクール以外の学校へのESDの普及は十分とはいえない現状があります。学校教育におけるESDの普及が十分に進まない理由として考えられるものを選択してください（複数選択可）。

- ☐ ESD の概念がわかりにくい。なんでも包括してしまう。
- ☐ ESD の効果がわかりにくい。
- ☐ 教職員の ESD に対する理解が不十分。
- ☐ 教職員が ESD の実施方法を知らない。
- ☐ どんな教材を使用しているのかわからない。
- ☐ ESD に充てる十分な学習時間が確保できない。
- ☐ 教職員に ESD を行う時間的な余裕がない。
- ☐ 教育委員会に ESD 担当部署がない。
- ☐ ESD を推進するための財政的支援がない。
- ☐ その他（質問 2 へ）

質問 2

質問 1 で「その他」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

--

質問 3

ESD の推進拠点として、実践や研究に取組み、その成果を積極的に発信することを通じて、ESD の理念の普及に努めましたか。

- ☐ 努めた（質問 4 へ）
- ☐ 努めなかった

質問 4

努めた場合は、どのように発信しましたか？（複数選択可）

- ☐ 報告会や研修会の開催

文部科学省委託事業

平成 28 年度日本/ユネスコパートナーシップ事業

- ☐ 学校の研究紀要等による他校の教員や教育委員会等への発信
- ☐ 学校便り等で保護者や地域への発信
- ☐ ユネスコスクール全国大会等他の機関主催の研修会等で実践事例発表
- ☐ その他（質問 5 へ）

質問 5

質問 4 で「その他」を選択した場合、簡潔にご記入ください。

--

質問 6

ESD の普及が十分に進まない理由も踏まえて、今後 ESD を更に普及させるための御意見がありましたらご記入ください。

--

質問 7

ユネスコスクール公式ウェブサイトを利用していますか。

- ☐ 利用した
- ☐ 利用しなかった

質問 8

利用した場合は具体的に、利用しなかった場合はその理由をご記入ください。

--

質問 9

ユネスコスクール活動を実施するにあたり、ユネスコスクール支援大学間ネットワーク（ASPUnivNet 加盟大学）をはじめとする高等教育機関等の支援や協力を受けましたか。以下の内容から選択ください（複数選択可）。

- ☐ ASPUnivNet 加盟大学（質問 11 へ）
- ☐ その他の高等教育機関や博物館等の専門機関 （質問 10、11 へ）
- ☐ 受けなかった（質問 12 へ）

質問 10

その他の高等教育機関や博物館等の専門機関を選択された場合、具体的な団体名をご記入ください。

質問 11

支援や協力を受けた理由をご記入ください。

質問 12

支援や協力を受けなかった理由をご記入ください。

質問 13

ユネスコスクールの活動を支援するためのユネスコスクール支援大学間ネットワーク（ASPUnivNet）加盟大学からどのような支援を期待しますか。

本アンケートについて何か御意見等ございましたらユネスコスクール事務局（webmaster@accu.or.jp）までお知らせ下さい

提出方法

●ユネスコスクール公式ウェブサイトアンケート専用ページでのご回答

Word 版アンケートフォームにご記入いただいた内容をコピー&ペーストで、ユネスコスクール公式ウェブサイトアンケート専用ページからご回答ください。

なお、アンケート回答するためにはログインしていただく必要があります。

文部科学省委託事業

平成 28 年度日本/ユネスコパートナーシップ事業

ログインID、パスワードが不明な方は「ログインID・パスワード再発行手続き」のファイルをご覧ください。こちらはユネスコスクール公式ウェブサイトの「年次アンケートご協力をお願い」のページからダウンロードできます。



【アンケート回答に関するお問合せ】

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）

ユネスコスクール事務局 本岡・藤本

E-Mail : webmaster@accu.or.jp